

2020年の住宅の省エネ義務化は先送り

国土交通省は、建築分科会及び建築環境部会を開催し、「今後の住宅・建築物の省エネルギー対策のあり方について」の第二次報告書案を示した。



	2013年度	2015年度	2017年度	2020年度	2030年度
省エネルギー基準		改正 (一次エネルギー消費量基準導入)	2020年までに 段階的に適合義務化	適合義務化	
低炭素建築物認定制度		普及促進			
ZEH ※ ZEH+を含めた広義のZEH			2020年までに 標準的な新築住宅で実現を目指す	2030年までに 新築住宅の平均で実現を目指す	

※出典:平成30年3月 ZEHロードマップフォローアップ委員会とりまとめ(案)

住宅については現状で6割

という水準に留まる適合率、審査体制の不足などを考慮し、2020年までの省エネ基準の適合義務化は先送りとなった。

一方で、住宅では建築主が居住者・利用者になることが多く、省エネ性能に関する情報が提供されれば、行動変容につながる可能性が高いため、建築士に対して建築主の意向を把握した上で、適合仕様書などを用いて、建築主に省エネ基準への適合可否等の説明を義務付ける制度を創設し、建築主の行動変容を促す。

有識者の委員からは、「住宅の省エネ基準義務化なしという方向で議論が進んでいることに対して、高性能な住宅づくりに取り組んでいる工務店などから『非常に失望した』という声を聞いている。住宅の省エネ基準適合義務化は未来永劫しなくてよいのか。目標の積み増しや、ビジョンを示すことが必要ではないか」といった意見が聞かれた。

情報提供: 創樹社

家族の予定・天気情報表示する壁材を開発

凸版印刷は、建装材とIoT機器を組み合わせた「トッパンIoT建材」シリーズの新製品として、ディスプレイ+化粧シートにより壁面に家族や地域の情報を受信・表示する「インフォウォール」を開発。2019年夏にも発売する。

ディスプレイと化粧シートを組み合わせ、ネットワーク経由でクラウドサーバから取得した家族のスケジュールやメッセージ、天気など生活に役立つ情報を表示できる壁材。情報を表示していない間は通常の壁として機能するため、空間デザインを損なわないという。



想定価格は約100万円～(2000x1000サイズの壁材価格、設置費用・システム構築費などは別途)。

情報提供: 新建ハウジング

無垢材の質感の床シートと組み合わせる階段



床材、玄関造作材とコーディネートした「トリニティ階段」の施工例

大建工業は、無垢材のような意匠の特殊化粧シートを用いた階段部材「トリニティ階段」を2018年10月22日に発売した。

表面に特殊強化フィルムを使用することで、オーク、ウォールナットといった無垢材のような質感を表現しつつ、傷がつきにくく日焼けや色あせなどの経年劣化を抑制する「トリニティ」は、床材として2015年10月に発売され、順調に販売を拡大してきた。

「トリニティ階段」は、トリニティの床材と色柄を合わせ、統一した空間デザインを実現できる階段部材だ。アッシュ、チーク、マホガニーなどトリニティと同じ9柄のほか、蹴込み、巾木などの垂直面には白系の2色も用意している。安全性に配慮するため、踏板の先端部を面取り形状にし、大型のノンスリップ溝を設けた。代表セット価格(税別)は、14段折り返し階段が22万4600円。

情報提供: 日経 XTECH